

波佐見中学校学校便り

第 27 号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

Laugh Cafe オープンしました!

2月21日(金)波佐見町役場の敷地内に町子ども家庭センター「よりそっと」がオープンしました。それに合わせて、3年生が11月の中学生議会で提案した地産地消費フェを1日限定でオープン。みんなの笑顔が

中学生議会での提案が実現



会場で前川町長と記念撮影=2月21日「よりそっと」にて
(長崎新聞:佐崎記者提供)

あふれる「Laugh Cafe」という名称で、当日は毎月開催している「みんな食堂」の会場に併設する形で、限定100食のスイーツを販売しました。



2月18日試食いただきました

常によくの方々が来場され、用意したスイーツは飛ぶように売れていきました。米粉を使った、みたらし団子、グルテンフリーのパンケーキにクレープ、自然の優しい甘みのスイートポテトなど、笑顔で販売する中学生、購入した方々が笑顔で食べる姿が印象的でした。

生徒たちも、自分たちが企画し、提案した内容を実現させることができ、達成感とともに充実感を味わうことができているように感じました。

生徒たちはもちろんですが、この企画の実現に向けて町役場の担当者の方々、サポートに入ってくれた栄養教諭の先生、実際に生徒の指導に当たった本校の教職員など、生徒の思いを形にしてやりたいと思う多くの方々を借りて実現できたということは本当に素晴らしいことだと思います。



次々にお客さんがやってきます

波佐見町の地域の教育力の高さを町内外に示すとともに、波佐見中学校の魅力アップに大きく貢献しました。御協力いただいた多くの皆さんに心からお礼を申し上げます。

卒業生の答辞の中で、代表の生徒が「感謝」の気持ちを込めて、お世話になった方々に向かって礼をした姿が印象的でした。いよいよ次は中学生の番です。素晴らしい式にしましょう。

県立学校卒業式

3月1日(土)、県内の県立学校で卒業式が行われました。波佐見中学校からは私が波佐見高校、江山教頭が川棚高校に出席しました。当初の天気予報では傘マークが出ていましたがなんとか、空も涙をこらえてくれていたようです。

卒業生の答辞の中で、代表の生徒が「感謝」の気持ちを込めて、お世話になった方々に向かって礼をした姿が印象的でした。いよいよ次は中学生の番です。素晴らしい式にしましょう。

卒業生の皆さんの中にはお兄さんやお姉さんが卒業式を迎えるという人も多かったのではないのでしょうか。私は直接教えたり、関わったりした生徒はいませんが、どの卒業生の顔も、みんな晴れ晴れと、そして堂々と立って、3年間の学び舎での生活を誇りに、4月からの新しい生活に向かおうとする気持ちが表れていると感じました。

早いもので、もうすぐ3月である。3年生も卒業が間近に迫ってきた。入試も終わり「人事を尽くして天命を待つ」といったところだろうか。▼私自身、昨今の今頃、波佐見中学校に赴任すると決まっていたからこんなことを思っていたのだろう。1年前のメモには「立つ鳥後を濁さず」と「ありがとセンター(前の職場)」と書いていた▼3年生は「立つ鳥運動」と称して、これまで3年間過ごしてきた学び舎に感謝して清掃する取組が計画されている。来た時よりも美しく。是非「ありがとう」と思いながら、そして次に使う後輩のために清掃してほしい。

校長日記